

第 22 回研修会議事録

議題 1・男子リーグ戦における制限時間の導入について

案 1：制限時間制度を設ける

- ・道場への入退場の間に目安を 15 分として制限時間 20 分を設ける。ただし、連立の際は制限時間を 40 分とする。
- ・制限時間を過ぎるようなことがあれば、審判から厳重注意を行うことにし、それでも事態がひどい場合は後日学連から処分を下す。

案 2：制限時間を設けず、付矢時間（付矢、合付含む）を減らして開始時間を早める。

- ・今ある付矢時間（付矢各 50 分、合付 25 分）を減らして開始時間を早くする。

案 3：制限時間を設けず、合付を無くして開始時間を早める。

- ・各校の付矢だけにし、試合時間を早くする。

<質疑応答>

岐阜 20 分で計算すると制限時間が超えるのでは？ どういった処分？

→目安時間を前回提示した。16 分から 20 分。

処分は始末書の提出である。

愛教 女子の試合も遅いときがあるのに、男子だけ制限時間を導入するのか。

→女子はダブルヘッダーを導入した時に、制限時間が設けられた。男女両方ともに制限時間を導入する

岐阜 案の中からどれかを決議しなくてはいけないのか。複合案は駄目なのか。部員の中には公共交通機関の影響で帰り時間が遅くなる人もいる。また事態がひどいという具体例とは。それは審判が判断するのか。

→案を複合したほうが良いと意見が多くあるならばそれを採用する。具体例とは何回も制限時間を破った場合である。また審判が事態を判断する。学連に連絡してもらう。

中部 合同付矢のやる意味とは。25 分間で成果が挙げられたという意見はあったのか。

→成果があったという意見はこれとってないが、学連としては合同付矢はあったほうが良いと考える。

日福 制限時間が例えば 5 分遅れた場合はそのまま進行するのか

→残念ながらそうせざるを得ない。

名古屋 案 1 に関して、相手がすごく早く終わった場合はどうするのか。また制限時間に縛られ、相手校が長くなって自分たちの時間が短くなってしまう場合があるので、平等性に欠けるのでは。

→考えておきます。

静岡 案に関して都学の方はどう思っているのか。制限時間もないのか。

→都学としては、付矢の仕組みがそもそも違い時間は各校が決めており都学が決めているのは試合時間開始だけである。東海の方ももう少し各校に任せてみれば良いのでは。制限時間も設けていない。試合が遅れることもあまりなかったこともない。

<合同付矢についての意見>

名城 合同付矢の場合まで選手を選ぶ場合があるので必要性はある。

常葉 やる・やらないと大学によって様々なので両校主将の話し合いで決められたらどうか。

三重 話し合いで決められたら柔軟に対応できると思う

→合付を①なくす②必ずやる③話し合いによって決める、の中から決議する。

決議 ③が過半数により採用する。よって案 3 は否決された。案 1, 2 を討論によって決議する。

三重 1 と 2 を複合し、開始時間までは案 2、開始からは案 1 というのはどうか。県外同士の学校だと、交通機関により遅れる場合がある。都学と同じように、開始時間を決めるだけで良いのでは。制限時間を設けられるとどうしてもきつい場合がある。

→他大学はこれについて何か意見はあるか

愛教 話し合いで決める内容とは合付だけか。

→そう考えてもらって良い。しかし基本的に試合開始時間は 13 時開始である。早まった場合は、両校主将によって付矢の時間を割り振ってほしい。

淑徳 付矢に 1 時間与えてしまったら、今回の目標である時間短縮にならないのでは

→合付をやるかやらないかを話し合いで決めてもらったので、今は時間についてどうするのかを審議してもらいたい。

～ここで 10 分間の休憩～

→合付がなくなった場合、審判との連携のため、試合時間が早まるというわけでは無い。

中京 例えば 1 週間前に話し合った場合でも、試合時間が早まる場合はないのか。

→前提に、試合開始時間が早まるということは無い。

静岡 試合中の1立の時間が目安を15分に決めれば、他は関係ないのでは。

岐阜 学連の処分をもっと重くしたらどうか。15分で引ききることは可能であると思う。

愛知 開始時間が案によって違うのか。合付がなくなった場合のタイムテーブルを作ったほうがいいのか。

→1の場合は13時開始。2の場合は12時開始になる。

愛教 合付がなくなった場合のなくなった空白の時間はどうすればいいのか。

→付矢をしてください。

→それは早くならないのでは。

名城 試合時間が早まらないのだったら、合付の決議は議題に沿ってないのでは。また道場に入ってから立を始めるまでが長くなっている原因であると思う。

名経 4部5部は試合時間が早い。それは道場に入ってから引くまでの時間が短いので、長い原因は入ってから引くまでの時間が原因ではないのか。その制限時間を設けるべき。

三重 名経の意見に賛成。時間について常識的なマナーの問題である。

各校の意見により、学連から案4として、入ってから行射に入るまでの制限時間を設ける案を提示する。

愛教 その具体的な制限時間とは

→まだ考えていないが、だいたい3分から4分ほどである。

→それは正確なデータに沿ったものか。データに沿って提示してほしい

日福 4にだいたい賛成であるが、入って行射するまでの時間を設けるだけでは、その後ダラダラするのは。その後の問題は。

三重 大学によってそれぞれの立の流れもあると思うが、行射に入ってからダラダラする大学はいないのでは。

→ちなみに東海大会、新人戦の立の時間を考えると、1立の時間は5分程度である。

～ここで10分間の休憩～

ここで制限時間を設けるか設けないかについてだけを挙手によって決議する。

制限時間を設ける…過半数

設けない…2

よって制限時間を設けることを可決する。

更にどこに制限時間を設けるかを決議する。

- ・ 試合時間全体に制限時間を設ける
- ・ 立の時間に制限時間を設ける

・入場～退場までに制限時間を設ける…過半数により可決

岐阜 試合開始時間は13時か。また、10時から13時までに付矢、的付けの時間を勝手に決めれば良いのでは。

試合開始までの時間をどうするのか。学連で付矢時間のタイムテーブルを出すのか、各校で話し合うのかを決議する。

1、学連がタイムテーブルを出すに賛成…14票

よって2を可決とする。競技規則に関わってくるので次回のリーグ戦までに提示する。

試合開始時間をどうするか。

1、12時から開始…24票

2、13時から開始…13票

よって1を可決する。タイムテーブルは後日提示する。

制限時間は何分が良いか。

静岡 入場3～5分、行射7分、よって15分が妥当ではないだろうか。

→学連側も15分が妥当であると考え

名古屋 座射なので、15分はきつい。最低17分は設けてほしい。

→他大学のことも考えて、全体の意見を求めたい

愛教 20分と、もともと提示していたのでは。はっきりとしたデータを提示してほしい。

→あくまで20分は最低ライン。目安である。また、終わりが19:10分になる。

→開始時間は12時になったので20分でも大丈夫では。18:10に終わるので、案1が良い。

→終わりの時間が案1と一緒にになったら意味がないのでは。

南山 立射と座射のよって制限時間を別に設けるべきでは

→時間に平等性が欠けてしまう。

岐阜 愛教に賛成。20分でも良いのでは。

→同中競射があった場合も考えてほしい。

愛学 同中競射を20分と考えたら、終わりは18:30であるが。

～ここで10分間の休憩～

→12:00始まりで20分まわりにすると、18:50になる。終わる時間が遅いので目安を15分がやはり妥当である。

愛学 19時に終わらないのが嫌であれば、最初に20分と提示するのではなく、15分と提示すればよかったのではないのか。

→申し訳ございません。

制限時間を15分に賛成か反対か決議する。

賛成…29票

反対…7票

よって、制限時間を15分とする。連立の場合は2立分（30分）の時間である。

名市 弦切れなど、例外は認められるのか。審議するのか。

→この場では審議しない。

愛工 処分とは。審判に任せすぎでは。審判にふさわしくない者もいる。

→処分は最初に提示したものである。審判に関しては、各大学で要項を徹底に読んでもらい、各校の主将で責任を持ってもらいたい。

日福 制限時間の例外を考慮してほしい。

→考えておきます。

議題2・新役員の当番制について

岐薬 ローテンションの免除条件に大学ごとのカリキュラムが含まれていないのはなぜか

→学連としてはローテーションまで把握しきれないので、考慮すると公平性に欠ける

→4年生になると研究室などで土日がつぶれるので学連に時間を配分するのは無理に近い。反対である。

→学連でも一大学生なので、学業に対しては優先、配慮はされている。

→学業に対しても支障はない？

→配慮している。

愛教 ローテンションを伝える時期はいつか

→時期としては11月の頭から中ほどまで連絡する。

→選び出された大学は選出しなければいけないのか

→希望者が最優先である。ローテンションは最終手段である。

→最終手段のローテンションで選び出された役員はいつまでが締切か

→3月の定例委員会が最初の仕事である。研修会の時期が締切と考えてもらって良い。

岐阜 学業を優先すると学連が疎かになるのでは？

→本人のできる範囲で努力してもらいたい。協力する。

名古屋 日本人2人、外国人が3人になった場合の配慮をしてもらいたい

→配慮するのでこちらから頼んだ時に教えてください。

ローテンションに賛成か反対かを挙手によって決議する。

賛成31

反対5

よって可決とする。

議題3・規約の不備改正について

- ① 第二節 第六一条 男子リーグ戦出場選手数の定義についての表記の変更
- ② 第二節 第七三条 男子的中率の算出の定義についての追記
- ③ 第三節 第八十条 女子リーグ戦選手数の定義についての表記の変更
- ④ 第三節 第九二条 女子的中率算出の定義についての追記
- ⑤ 第六節 第一百八条 東海大会における選手交代についての追記

全ての項目で3分の2以上の賛成が得られたので可決とする。

→参加校の指摘により、過半数の賛成により規約改変の取りやめに可決。

名古屋 選手人数が7人の場合でも的中率を160で割るなら不平等ではないのか。

→学連としては全大学が160で割るという方針で行くつもりである。

議題4・リーグ編成について

- ・女子IV部、V部の編成不均等の解消方法について
- ・次回リーグ戦までにおけるリーグ編成の参加確定について

中京 リーグ戦の申請の期限はどのような理由で決定したのか。

→新入部員のことを考慮すると、なるべくたくさんリーグ戦に参加してもらいたいのでこの期限にした。逆に言うとリーグ戦の申請はこの期限までである。

愛工 IV部でも適用されるのか

→平等になるため、そうせざるを得ない

岐阜 IV部V部の入れ替え戦の三つ巴戦について詳しい説明を。

→V部の参加が1ブロックで納まるのであれば、V部上位とIV部ABの下位2校で三つ巴となる。

名女 リーグ戦を棄権する申請は無期限なのか

→不参加の申請はリーグ戦が始まるまでにしてもらいたい。

常葉 三つ巴戦は来年からはV部上位2校が参加するということか。

→そう考えてもらって良い。しかしあくまでブロック数が1つの場合である。

岐阜 再編成になったらどうなるのか。また、男子も該当するのか。

→該当校に連絡する。男子も該当する。

名古屋 研修会後であれば、外して再編すれば良いのでは？研修会後の不参加の申請は棄権ということだが、不参加から参加にしたい場合はどうなるのか。

→そうする。特別な事情が無い限り、不参加の申請はしないで頂きたい。

解消案に賛成か反対か

賛成…38

反対…0

よって可決された

リーグ戦参加申請の期限について賛成か反対か

賛成…38

反対…0

よって可決された

議題5・台風発生の場合の対処について

愛工 中止の場合試合を途中までやった場合、途中経過から再開するのか、それとも最初から試合開始するのか。

→昨年度から最初からと決められている

岐阜 暴風警報が出ている場所は試合会場か

→そうなる。しかし集合するのが無理である場合もあるので、両校主将で話し合い、委員長に連絡してもらう。

愛学 暴風以外でも選手が来られない警報や試合ができない場合はどうするのか

→中断、又は中止してもらってもかまわない。よく両校によって話し合ってもらう。審判にも連絡してもらう。

→住んでいるところであつたら。

→両校で話し合ってもらい、緊急の場合委員長、つながらなかった場合リーグ戦記録担当のほうに連絡してもらう。

この時間の案に賛成か反対か

賛成…38

反対…0

よって全会一致によって可決された。よって目安スケジュールを発表。

議題6・残心の配布について

愛工 中近で配ると書いてあるが、中近には進学校があまり参加しない。各高校に郵送してみたらどうか

→多すぎて調べることが困難である。中近で成果をあげられたらまた配布を考えてみる

岐薬 加盟校に任せてみて、高校のOBとして配るのはどうか

名経 高校の大会で配ってみたらどうか

三重 中近で配るといふのは賛成である。しかし参加していない高校もいるので、高校の東海大会などで配布してみたらどうか

→ゆくゆくは三重などの県外の大学などにも広められるよう努力していきたい。

残心を配るといふのに賛成か反対か決議する。

賛成が過半数により可決された。方法などや範囲などはまた検討していきより多くに配布できるようにしたい

質問会

1・練習内容と練習量

・指導方法

t o 中部大学、静岡大学、岐阜大学、各大学

f r o m 岐阜大学、大同大学、岐阜薬科大学、名城大学

中部 基本週4日。試合があれば週7日 自主練 指導内容は上級生が下級生に指導、月に1, 2回外部講師の先生に指導してもらっている。

静岡 試合2週間前に20射引いて選手を選抜して、そのあとは各自自主練。指導の先生には合宿に来てもらっているが、年ごとに波が出来てしまうのでOBさんに月何回か指導をしてもらうようにすることにした。

岐阜 基本週3日。道場に必ず来させる。試合前は強化練習。週二回は12~20射。後の一日は工夫稽古である。後輩→先輩への指導も。

都学(早稲田) 火曜~土曜まで週5日全体練習。毎週日曜に試合。一手立も組んでいる。20射の立を週4日。100から200射矢数をかけている。強豪校は考えが一貫しており、師範の先生の考えは絶対である。(深い伸び合いから角見のきいた離れ。)

全日(一橋) 月曜から金曜200射最低限は引いている。レギュラーの方は週7日練習

している。副将が指導担当しており、負担が重いが効率が良い。もちろんほかの部員も指導はしているが中心は副将である。

2・部員集めの方法

*t o*各大学

*f r o m*愛知大学、名古屋経済大学

名城 新生が入ってくる1, 2週間前に道路に立て看板を立てる。ビラ配り。試射会や歓迎会をひらいて交流を深める。

淑徳 学校全体の新歓フェスティバルでビラ配り、発表会、見学会を通して部活の説明をしている。

都学（早稲田） 立て看板、人を使って新生に声をかけていき、広告研究会に弓道に興味を持ってもらえるようなポスターを作って学校中に貼っている。

全日（一橋） ビラ配り、パンフレット、試射会

愛知 学部が分かれている大学はどのようにしているか

→中京 限られた時間の中でいかに効率よく声掛けしていくかを考えているので、カリキュラム的に見て部活をしやすい学部積極的に声をかけていく。スポーツ推薦などはぬく。

静岡 矢声などで止めてしまう部員に対しての対策方法は

→名経 よし、などの矢声以外はなしにしている。

3・使用している弓のキロ数

*t o*各大学

*f r o m*名城大学

愛学 男子14～17キロ 女子11～14キロ

名工 自身に合った弓を使用しており、特別に強いというわけでは無い。男子は14～17強キロ。女子は11キロから重いものでは16キロ強。学校の弓であり、新生の弓は上級生が管理している。

4・月に何度決議しているか、その内容

諸事情により今回は取り上げない。

5・リーグ戦における矢声禁止の件について

*t o*名古屋大学

*f r o m*日本福祉大学

名大 近隣住民の方に苦情が相次ぎ、学校から矢声は控えるように言われた。交渉中であ

り、解決策として町内会への挨拶、防音壁、他の道場を借りるなどを考えているが、今年中は厳しい。

自由質問

愛学 合宿の内容

→**都学（早稲田）** 7泊8日。2, 3日目は射込み。合宿前半は射込みメイン。コーチの方に指導を自主的に仰ぐ。後半は立形式の練習。他大学との練習試合。

→**全日（一橋）** 9泊10日であったり、または7泊8日。中間に試合形式の立ち練。100射会。師範に来てもらっている。

三重 1年生に対して筋トレのメニューがあるか

→**都学（早稲田）** 筋トレというメニューはない、ひたすら弓を引く。実力主義である。初心者の方には巻き藁などのメニューをしている。

→**全日（一橋）** 筋トレというメニューは無い。しかし体幹を鍛えるメニューは必要であると考えている。

岐阜 選手選考の基準はどのようにしているか

→**淑徳** 的中率を算出してもらい、そのうえで強化練の的中率をみて付け矢をする人数決め、付け矢・合付の様子も見て決める。

岐阜 仕事に関してどれくらい厳しいか

→**都学（早稲田）** 1年生が基本的に仕事。マニュアルを渡して、ミスがあった場合主将、道場係にすぐに謝罪にいかせる。かなり厳しい態度で臨んでいる。

→**全日（一橋）** そこまで厳しいというわけでは無い。怒鳴ったりするようなことは無い。サポートできるように1年生には2年生がついており、普段から練習して公式練習にはミスが無いようにしている

岐阜 自主練の矢数

→**愛知** 自主練はまかせっきりで、多い人は10時ごろまで引いていく。最低40射は引いている。

→**中部学院** 部活は週6日。20射立。最低60射は引けている。テスト期間中は勉強にあてるがノルマを設けて男子は300射、女子は250射、最低5日は来てもらっている。

→**中部** 各自に任せている。正規練の後に100本引く人もいれば全くひかない人もいる。平均で60射は引いている。